

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月22日(月)

会場:甲奴健康づくりセンター ゆげんき

参加者数:53人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>一昨年と昨年とお願いした道路の減速対策, また, 昨年は防犯灯を4基付けていただき感謝している。今一番心配なのは, 甲奴と安田の大垣という所の通行止めになっている道である。できれば雪が降る前に直してほしい。応急手当をすれば通行できるのではないかと。三次中心部へ買い物に行くにしても, 冬の間は上の道が通りにくく, 宇賀の方は事故が多いところである。色々順番があるとは思いますが, よろしくお願ひしたい。</p>	<p>・道路の通行止めに関して, 皆様には色々ご不便をおかけしている。今回の災害は, 市全域にわたって被災件数も多く, 市では災害復旧対策本部を設置し, 全力で復旧にあたっている状況である。復旧にあたっては, 国の査定を受け, 補助金をもらう手続きをしていかなくてはならない。現在, 12月から1月に査定を受ける準備をしている。冬までと言われた所もあるが, また個別に調査をしながら進めさせていただきたい。安田・梶田の所は, 山の上のほうも崩れており, 路面だけではない。安全を確保して調査をさせていただきたいと思う。</p> <p>・小淵抜湯線については, 2か所を災害として出すようにしている。復旧については, 生活上支障の大きい箇所を優先して復旧することを考えるため, 住家が無いところは少し時間をいただくことになる。とはいえ, 早期復旧に向けて努力したい。</p>	
<p>災害の関係で, 梶田に15メートル程の区間の工事用信号機がついている。見通しが良いのに, 1分以上も待たされる。待っている車を追い抜いていくなど, 違反をする車がたくさん出ているため, 事故が起こる可能性がある。待ち時間が30秒程度なら良いが, 1分以上となると渋滞も起きる。対向車がいなければ, 進めるような信号にしてほしい。</p>	<p>見通しが良いので申し訳ない気持ちであるが, 安全を確保するうえで, 安易に出来ないこともある。今のところは, このままでお願ひしたい。</p>	
<p>災害でカーター球場の下のグラウンドの所が崩れている。コミュニティセンターでも草刈りをするので, ガソリン代くらいでも手当があれば, みんなでやったら良いのではないかと話している。考えてみてもらえないか。</p>	<p>市道カーター線については, 迂回箇所シートを設置し, 片側通行とする準備を進めている。</p>	
<p>抜湯から有田の上下抜湯へ抜ける小淵線について, 災害にあたりもしているが, 広い道ではない。通っても2トン車が通れるほどの道で, 今は車がたくさん通らないので, 健康づくりにも役立つハイキングのコースにしてはどうか。上川は, 3~4キロほど家が全くない。歩いていると, 色々な植物や動物に会えたり, 色々な種類の野草や雑草を見ることが出来る。私が歩いた際には, 大きなガマガエルをアオダイショウが食べている光景も見かけた。昼間は出てこないが, イノシシやシカも出る。これを生かして, 健康づくりのために, 月1~2回の日曜日は通行止めにし, みんなでハイキングをしてはどうか。</p>	<p>健康づくりのために, 保健師もウォーキング等を勧めているところである。市でも, 健康づくりサポーターなど, 様々な取組をしているので, また保健師や健康づくりサポーターの方と一緒に話しをさせていただきたい。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月22日(月)

会場:甲奴健康づくりセンター ゆげんき

参加者数:53人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>弊社は、正社員・パート並びに外国人雇用を合わせ55名雇用しており、三次市の本社が40名、福山支店が15名という体制である。昨年からはベトナム人の雇用を始めた。つい先月も、来年度に向けて面接に行ってきた。そこで、市の行政として、外国人の住宅についての手当はどのようにされているのか伺いたい。というのも、現在、民間でアパートをしているが、行政の方で外国人雇用のためのアパートをどんどん入れてもらおうと、民間の圧迫になる。また、空いている市営住宅もどうするかということもある。今後市としても、はっきりしておいたほうが良いのではないか。三次市全体で考えていく必要があると思う。</p>	<p>・市では、住宅を1,167戸管理しており、現在306戸の空き家がある。その内、甲奴町では112戸を管理しており、25戸の空き家があるが、今現在、「企業に雇用された外国人の方のための住宅」という制度は設けていない。単身でも雇用促進住宅の方へ入居することができるので、個別にご相談いただければと思う。</p> <p>・海外からの雇用というのは、年々増えてくる。それは企業のみならず、福祉を含めて全体へ広がっていくと思っている。そこにはもちろん住宅の問題がついてくる。個別にご相談いただき、市として支援できることはしていきたい。三和町では『帰ろうコール』を住民自治組織と支所と企業も含めて実施している。甲奴町においても、先般「里山こころざしカフェ」に行った際に、他には無い、我々にとっては明るい雰囲気をもたらす意見がたくさん出ていた。甲奴町に住んでいる市の職員もおり、応援隊の方にも頑張ってもらっている。色々な面でご相談いただきたいと思う。</p>	
<p>移住希望者の方と空き家の持ち主の方とお話しする際には、売買の場合、なるべく不在地主の物件が残らないような方向に気持ちが向くよう話を進めている。これまでは、墓地や道路の法面等も含めて、全てご購入いただいた例もあるが、かなり難しい。農地については、農地法の関係があるため、甲奴支所職員も動いてくれ、現在は検討中ということでお答えをいただいている。今、困っていることは、市道認定を受けている道路の所有権が、まだ空き家バンク物件の持ち主で、相続登記もされておらず、それをどう風にするのか一番良いのかを業者にお話しできないことである。市道認定を受けている所の所有権が移転されていない道路はたくさんあると思うが、今後の市の方針があれば教えてもらいたい。</p>	<p>不在地主を無くすため、可能な限り所有権を移転しようという思いを持っていただいていることに感謝申し上げたい。最近の道路改良では、道路の敷地の部分には登記も付け、測量をして買収している。しかし、例えば何十年前に、里道(集落の中の道)であった所を、車が通れるようにと地域の方々に広げられた道などがある。その道については、市道改良の際に新しく市道とする部分にかかれば買収するが、かからない部分は、所有権が残ったままで公衆の道路になっている。そういった所は多くある。それを個別に対応しようと思うと、今は非常に登記手続きも厳しく、きちんと測量をして、形を復元した状態で地籍更正をしなくてはならず、費用も時間もすごくかかる。従って、市では地籍調査を進めている。現在では約3分の2が終わっている。地籍調査をする時には、そういった地番・所有権が残っている場合は必ず復元し、登記をしている。ここまで出来れば所有権の移転だけになる。言い方は悪いが安価にできる面もあるため、今は地籍調査でそういった過去の未整理の部分の整理しながら進めている。一般的にはそういった対応をしているが、状況が分からなければ答えられないところもある。もし、個別にそういったことでお困りの箇所があれば、ご相談をいただければと思う。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月22日(月)

会場:甲奴健康づくりセンター ゆげんき

参加者数:53人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>甲奴健康づくりセンター「ゆげんき」が想像以上に大きく立派で嬉しく思っている。感謝申し上げたい。会員の方の声を聞き、6月には早々にブルウオーキング教室を行うなど、たくさんの方に利用していただくために取り組んでいる。また、ピースベル甲奴ではラウンジの運営と掃除も行っている。メンバーの中には食生活改善推進委員や調理師、食育インストラクターなどもおり、日々色々と勉強していることをこのラウンジで皆さんにお伝えできたらと思っている。利用された方の野菜中心の食生活の啓発にも繋がるのではないかという思いで、メンバーみんなで協力して頑張っている。先日は、菌山街道のイベントに参加し、松茸ごはんや松茸フライなどを使ったキノコのランチを販売した。夏には、放課後児童クラブの子どもたちを呼んで、お昼を提供させていただいた。ハンバーグランチやトウモロコシごはんなどが好評で、これからも定期的に続けていけたらと思っている。また、旧市内の子育て支援活動をされている方々にも参加いただき、女性同士の情報交換を行っているところである。地域の方々にはたくさん協力していただいております。野菜や季節の食べ物や新鮮なお魚を届けて下さる方もおられ、とても感謝している。しかし、なかなか利益が上がらず、伸び悩んでいる。この施設に食べるところがあることを知っておられない方もいると思うので、駐車場入り口辺りに看板などを立てていただけたら宣伝になると思う。我々もまだまだ努力して色々と工夫してやっていきたいと思っているので、どうかよろしく願いたい。</p>	<p>・ピースベル甲奴を中心に色々のご尽力いただき、心から感謝申し上げたい。利用者数を増やす取組については、色々イベントを組むなど引き続きしっかりと考えていきたい。看板の件については、「ゆげんき」の看板自体が道路改良を見越した場所に立っており、見にくいというご意見をいただいている。入口のガードパイプの所に看板の設置を検討しているところなので、併せて設置をさせていただきたい。</p> <p>・「ゆげんき」の運営にあたって一番大事なことは、地域の皆さんにどう関わりを持っていただくか、活かしてもらおうかということが最大のテーマの一つということもあり、ピースベル甲奴に対応していただいた。看板や幟旗については、検討ではなく、やるべきだと思う。私自身もPRが少ないと思っている。水も普通の水ではなく、温泉水であるということをもっとしっかりとPRしなくてはいけない。行政としてもPRしていくべきだと思うし、皆さんも一緒になってPRしてもらえたらと思う。</p>	
<p>カーター球場の所の市道は、スピードを持って復旧していただきたい。照明の図面をみたが、約20m弱の搭だが、図面では一番下にアンカーのブロックがあり、その下に杭を打ったようになってない。建築基準法で許可を受けているならば、その図面があるはずであるが、無いと言われた。合併当時の図面が無くなったことになっている。こういったことはきちんとしてほしい。カーター球場やジミー・カーターシビックセンターは、甲奴町の拠点施設であり顔である。11月になると書道パフォーマンスやピーナツ収穫祭等イベントもあり、バスも通ることになる。市道なので、市の権限で早く直して通れるようにしてほしい。</p>	<p>完了写真で確認をさせていただき、また、当時の担当者等にも確認した。下の岩盤まで、10mのパイロ管を1つの基礎に4本づつ埋め込んでいる。これで強度は保たれていると判断した。</p>	
<p>上下川水系について、広島県防災WEBで閲覧ができるよう、甲奴町内に水位計をつくってほしい。1市4町3村の中で、水位計が無いのは甲奴だけである。上流は府中市上下町二森というところであり、下流は安田にある。NHKの防災や広島県防災WEBを見るとすぐに出てくる。すぐに分かるように水位計をお願いしたい。</p>	<p>どの場所にどのようなものが必要かについては、地域の方と現地を確認し協議させていただき、河川管理者に要望していきたい。水位計は危険判断の指標になり、とても大切なことであると思っている。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月22日(月)

会場:甲奴健康づくりセンター ゆげんき

参加者数:53人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>防災連絡員や地区の責任者に平成30年7月豪雨に係るアンケートを実施し、52通の提出があった。その中には、「三次市の緊急情報伝達システムは極めて貧弱であると思う。音声告知放送のみで屋外には何も無い。市民の安全を守るため、地域活動は重要であるが、情報提供は行政の責任と自覚し、施設・組織の整備を早急にしてほしい。」との意見があった。市議会の一般質問の中でも各旧町村は要望しているところでもあるが、改めて要望したい。</p>	<p>全市に光ファイバーを巡らせて音声告知放送を整備しており、甲奴町においては、100%の方にご加入いただいている。携帯をお持ちの方であれば、メールで情報発信を行っており、避難指示や勧告が出た場合には、テレビでも情報を流している。国や県と連絡を取りながらできる限り情報発信をしているので、受け取られる方もラジオも含め、色々な方法で情報を受け取る準備をしていただき、情報収集にあたっていただくようお願いしたい。</p>	
<p>土砂災害防止法のレッドゾーンで建築確認申請が不要な場所は、新築時にどのように指導されているか伺う。</p>	<p>レッドゾーンの新築の場合は、個別に市の都市建築課に相談していただきたい。基本的には、レッドゾーンであるので、想定する災害に耐えるために擁壁を打っていただく等になると思う。詳しくは後日回答したい。</p>	<p>【回答】 11月2日甲奴支所から甲奴町振興協議会連合会へ回答させていただいた。 (都市建築課)</p>
<p>ジミー・カーターシビックセンターは平成6年に建設され、現在24年が経つ。耐用年数は50年であるので、あと約26年あるが、ピースベルのホールの音響・照明、ボイラーが老朽化しており更新してもらいたい。市とも相談しているが、金額が全部合わせると1億円になるような金額である。耐用年数の半分が経つので、新しく更新をしていただきたい。</p>	<p>建物の更新の考え方についてであるが、三次市にはピーク時で783施設ある。その中で利用者が限られているものは、できるだけ譲渡を受けてくださいとお願いしており、甲奴ではあまり多くないが、集会所を地元で修理をして渡したりする取組をしている。拠点の施設については、随時更新が必要であると考えている。今は、鉄筋コンクリートであれば、耐用年数を60年として、30年くらいを経過した時に建物を引き続き利用するのであれば、長寿命化の更新をしていく考えである。個別に雨漏り等が発生すれば対応しているが、少しずつ直していくのではなく、できれば計画的に大規模改修として設備も含めてやっていくほうが理想的であると思う。今時点では、ジミー・カーターシビックセンターをいつ改修するかというところまでは決まっていない。</p>	
<p>拠点施設や一部指定避難施設に無料の公衆Wi-fiを設置してほしい。</p>	<p>平成30年7月豪雨の際、避難所は市内全域で37箇所を開設し、同時に各地域の自主防災組織で60箇所以上を開設していただいた。全部で100箇所以上である。避難所での情報伝達方法が無いという声を多くいただいており、音声告知放送やテレビ、Wi-fiの設置等、様々なご意見もいただいている。現在、それらを総合的に検討しているところである。それぞれの住民自治組織、自主防災組織の方に直接課題や問題をお聞きし、最善の方法をとれるよう今後検討していきたい。</p>	
<p>斎場「紅梅苑」については、ゆりかごから墓場まで甲奴町で完結できるように、住みやすい場所にしてほしいとのご意見があった。平成24年の4月に要望を出したが、ご検討をよろしくお願したい。</p>	<p>8市町村が合併し、一つの斎場にしようということで、田幸に新斎場を整備した。君田と甲奴は新しくなったため、使える内は使う考えで、今現在に至っており、増築等は考えていない。末長く大事に使っていただき、どうしても使えなくなった時には、そのために建てた新斎場を使っていただきたいという考えである。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月22日(月)

会場:甲奴健康づくりセンター ゆげんき

参加者数:53人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>宇賀小学校は地域の交流拠点施設として、宇賀の地域振興協議会が管理、運営を受けさせていただいているが、補助金や援助等をいただき感謝申し上げます。しかし、受けるにあたり、お願いしたことがそのままになっている。プールの水がまだ張ったままの状況であり、撤去などをしていただき、より交流のための活用ができるようにご尽力いただきたい。</p>	<p>合併前は小学校には、どこも1つプールがあり、条件として夏休みは使えるように残されていた。現在は16～17箇所の使用していないプールが残っている状況である。今年も1つ増える。現在少しずつ、そういった施設を大きいものから解体している。1つは財源の関係もありなかなかすぐにはできない。また、数が多い。危険なところから解体している。今年や来年ということにはならないと思うが、できるだけ早くさせていただきたいと思う。</p>	
<p>宇賀の交流拠点施設を利用して地域おこしを頑張っているところであるが、9月で地域おこし協力隊の方が宇賀の地で古民家を活用して家を構え結婚子どもも授けられた。交流を進めている中でうってつけの人材も得ることができた。任期満了ということであるが、引き続き地域おこし協力隊を確保していただきたい。拠点は甲奴で活動していただきたい。宇賀の振興協議会の役員もしてくれ、神楽同好会のメンバーでもあり、お祭り等でも地域のために活躍してくれている。</p>	<p>地域おこし協力隊は、今年当初に11人おり、その内3人が9月で3年の任期を終えられた。甲奴町で頑張っていた方もその中のお一人である。今回卒業された皆さんは、全員が三次の地で定住をされた。当初目的としていた定住にもつながってきている。今年度末には、さらに4人が任期満了を迎える。今後どのように募集をしていくかについては、現在市でも検討をしているところである。どの分野でどのように募集していくかなど、ご意見も参考にさせていただきたい。</p>	
<p>甲奴診療所は、正規の看護師が1人。臨時の方が3～4人でローテーションしていると聞いている。患者さんが多く、午前は先生の診察、昼からは各家に回られている状況である。正規の職員を1人でも増やしてもらえないか。</p>	<p>甲奴町時代から自治医大の卒業生を9年間の義務年限で、巡回している先生との出会いをもたれ、先生の頑張りをいただいている。他の地域では、数年間、医師の不在で苦慮していた地域もある。どうか先生を大切にしてもらい、病気になったらその先生が主治医ということで拠り所にしていただき、万が一は市立三次中央病院のアクセスもできているのでご利用いただければと思う。特に機器については、古い医療機器で診療してもらうのは限界があるので、更新すべき時には、積極的にさせていただきたいと考えている。職員体制については、診療所の先生との話し合いの中で最終判断をしていきたい。</p>	
<p>地元健康増進の拠点施設「ゆげんき」ができ、感謝している。チャレンジデーに合わせて、体育協会さんがラテン音楽に合わせた有酸素運動ズンバを4回シリーズで開催してくださった。若い方にもとても好評で、その教室が終了した後も、4月から自主サークルとして教室を開催することとなった。身近に良い施設ができ、健康づくりにとても役立っている。我々子育て世代は、どこに行くのにも子どもを連れていかなくてはならない。先日、トレーニングマシンの講習会の話を知ったが、子どもがいる人は、なかなか思うように利用できないと感じた。子ども連れでも参加ができるような配慮があると良いと思う。例えば、ネウボラの相談コーナーにはキッズスペースがあると聞いた。また、講習会などには託児があったりする。この地域づくり懇談会でも、託児があるということで安心して参加することができた。このような参加しやすい配慮をいただき、若い世代向けの健康教室なども開催していただけたらと思う。</p>	<p>・「ゆげんき」のキッズスペースは、ぜひ設けたいと思う。託児についても、託児してもらう人の確保のこともあるが、できるだけご要望が叶うよう、事前にわかっていたら調整させていただきたい。</p> <p>・色々なご意見をいただき、甲奴支所長を中心に検討させていただきたい。大いに利用していただきたいと思っており、そのためには当然配慮も必要である。</p>	